形式：対面セミナー	補足：
ジャンル：食品	講習会コード：　ｔｄｓ２０２７０２０５ｔ１

実験回数を減らしながら最適解を導く実験計画法は、食品開発の効率化に大きく貢献します。本講座では、主要な実験計画法をわかりやすく整理し、官能評価や食品開発への応用事例を紹介します。成功事例だけでなく失敗事例も交えながら、食品特有の「おいしさ」や消費者評価をどう取り扱うべきかについて実践的に学べる内容です。

食品産業における実験計画法の基本と活用例

－官能評価と統計を活用した製品開発・品質改善－

講　師：一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズ 代表理事　広田鉄磨 氏

ネスレのグローバル組織で海外勤務を 13 年経験、地方や国によって大きく食品安全の概念や座標が異なることを体感。帰国後は その経験をもとに 厚労省の HACCP 教育ツール開発グループメンバー、農水省主導の JFSM 創設準備委員会メンバー、JFS-A,B 監査員研修のテキスト編集。関西大学特任教授として食品安全を教えるかたわら 自ら創設した 一般社団法人 食品品質プロフェッショナルズの代表理事となって現在に至る。

●日　程　2027 年 2 月 5 日(金)　13:00～17:00
●会　場　テックデザイン　セミナールーム（東京　飯田橋駅／九段下駅）
●受講料（申込プラン）　**39,600 円（税込）**

＜対象＞
- ●新商品開発や既存製品の改良に携わる技術者
- ●官能評価を活用した商品開発を行っている方
- ●食品の配合最適化や品質改善に取り組んでいる方

＜目的・ゴール＞
食品開発における実験計画法の活用方法と限界を理解し、官能評価や品質評価を踏まえた適切な実験設計を検討できるようになる。

＜習得知識＞
- ★実験計画法の種類と特徴を理解する
- ★食品開発において実験計画法を活用する際の注意点と限界を理解する
- ★官能評価と実験計画法を組み合わせた効率的な製品開発の考え方を学ぶ
- ★成功事例・失敗事例を通じて、自社開発テーマへの応用イメージを持てるようになる

＜プログラム＞

1.実験計画法の基本
- ①完全無作為化法　②乱塊法　③ラテン方格法　④要因計画法
- ⑤部分要因計画法　⑥タグチメソッド　⑦応答局面法　⑧混合物実験計画法
- ⑨分割区法　⑩プラケット・バーマン計画　⑪最適計画法

2.タグチメソッドの詳細
- ①タグチメソッド（品質工学）の考え方
- ②直交表を用いた効率的な実験計画
- ③ノイズ（環境変動・製造ばらつき）に強い条件探索
- ④タグチメソッドの長所と限界（交互作用の把握が難しいケース）
- ⑤食品開発で活用する際の留意点

3.食品分野での官能評価成績向上を目的とした実験計画法の応用事例
- ①チョコレートの配合最適化
- ②パン品質改善への直交表活用事例
- ③ヨーグルトの食感・風味の最適化

4.講師の経験した実験計画の成功事例、失敗事例
- ①実験計画法が官能評価での開発目標達成にうまく機能した事例
- ②官能評価の改善には成功したものの、商品として成功しなかった事例マーティング戦略とは融合できておらず販売増には結び付かなかった
- ③実験計画法だけでは解決できない課題とその対応

5.学習のガイドライン

6.質疑応答（悩んでいる事例があれば事前に送ってきてください）

＜講義概要＞

実験計画法は、限られた試験回数で効率良く最適条件を探索できる有効な手法として、多くの製造業で活用されています。一方で食品開発の現場では、「おいしさ」や「食べ心地」といった官能的な評価を対象とすることが多く、十分に活用されているとは言えません。その理由の一つは、食品の価値が単なる物性値ではなく、消費者の嗜好や感覚によって決まるためです。例えば、破断強度や水分値のような物理指標は定量化できますが、「おいしさ」「食感」「満足感」といった評価は多くの要因が複雑に絡み合って形成されます。そのため、実験計画法を適用する際には、評価指標の設定や要因分解の段階で十分な検討が必要となります。

本講座では、代表的な実験計画法の特徴を整理するとともに、食品分野への応用事例を紹介します。特に、官能評価と実験計画法をどのように組み合わせれば開発の効率化や品質向上につながるのかについて詳しく解説します。また、講師自身が経験した成功事例や失敗事例も交えながら、実務で活用するための考え方をわかりやすく解説します。

＜お申込要項＞

下記に必要事項をご記入の上、FAX にてお申込みください　（※は必須です）

FAX 03-6261-7924

申込講座	2/5 食品産業における実験計画法の基本と活用例		**申込プラン（複数ある場合）**	
会社名※				
所在地※（請求書等の送付先）	〒			
参加者①	**氏名※**		**TEL※**	
	所属※		**FAX**	
			役職	
	Email※		**@**	
	会員登録	□ 登録する　□ 登録しない　（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）		
参加者②	**氏名※**		**TEL※**	
	所属※		**FAX**	
			役職	
	Email※		**@**	
	会員登録	□ 登録する　□ 登録しない　（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）		
支払方法※	□ 銀行振込（紙請求書）　□ 銀行振込（PDF 請求書）　□ カード支払い　□ 未定のため後日連絡する			
支払予定日※	□ [　　] 月 [　　] 日ごろを予定している　□未定のため後日連絡する			
備考※				

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 https://www.tech-d.jp/privacy/apply_privacy.pdf ）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先：entry@tech-d.jp メール本文に＜①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】＞をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします
③ 請求書等をお送りいたします

＜注意＞

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

＜期日＞

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください
※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

＜方法＞

①銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
②クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） ０９７３５２２
名義	株式会社テックデザイン

主　催 **申込・問合先**	**名　称**	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住　所	〒102-0072　東京都千代田区飯田橋 1-12-15　九段大和ビル 3 階		
	電　話	03-6261-7920	**FAX**	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp （申込） / info@tech-d.jp （問合）		